

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間を想定した避難訓練が実施できていない。	人手の少ない夜間でも、効率的に職員を招集し、避難誘導體制が取れるようにする。	夜間を想定した避難訓練の実施。 職員の招集方法の確立。 実際の避難誘導訓練の実施	6ヶ月
2	35	災害時の非難誘導について、地域住民の方の協力を十分に得られる体制が取れていない。	災害時には、地域の方にGHの存在を意識していただき、協力を得られる体制を築く。	地域の防災訓練に、GHの非難協力に関する項目を設定していただけるよう話し合う。	12ヶ月
3	13	職員を育てる仕組みが確立されておらず、外部研修に頼っているところが大きい。機会もそう十分あるとはいえない。	経験年数に応じたレベルで到達目標を定め、全ての職員のレベルアップを図る。	キャリアパス制度の確立と、到達目標を明確にし、職員個々が意欲を持って学べるようにする。	12ヶ月
4	26	ケアプランについて周知ができておらず、それぞれの入居者様について、全職員が共通する目標を意識してケアにあたっているとは言えない。	ケアプランの立て方について深く検討し、全職員がそれを理解して、共通の思いを持って日々のケアにあたれる。	ご本人はもとより、ご家族、現場の思いが反映されたケアプランを、関係者すべてが共有できるよう、見直しを行う。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。